



構成 第1部 ピノッキオ (約45分)

<あらすじ> イタリアのある町にゼペットという人形作りのおじさんがいました。ある日ゼペットさんは友達のおくらんぼ親方から不思議な木ぎれをもらい、こどもの人形を作ることにし、名前を「ピノッキオ」と名付けました。

今日はピノッキオが完成する日です。ところが不思議なことが起こりました。ピノッキオが突然しゃべり始めたのです。びっくりしたゼペットさん、気のせいだと思い再び作業をはじめようとすると、今度は部屋中を動き回っていたずらをはじめ、とうとう家を飛び出してしまいました。家を飛び出したピノッキオ、楽しい音楽につられて見世物小屋に入っていくと、同じ操り人形たちが楽しいショーを演じています。興奮したピノッキオはステージに上がり込んでショーをめっちゃめっちゃにしてみせます。怒った人形芝居の親方はピノッキオを燃やしてしまおうとします。ところがピノッキオが泣き叫ぶと親方は急にやさしくなり、ピノッキオに同情して金貨を渡し家に帰るよう促します。

ピノッキオは家に帰ろうとしますが、道草をしているうちに帰る道がわからなくなってしまいました。森の中で途方に暮れていると、今度は悪いキツネとネコが現れてピノッキオをだまし、金貨を奪ってしまいます。傷だらけのピノッキオが木につるされていると仙女様が現れます。ウソをつくピノッキオの鼻をのぼしますが、正直になったピノッキオをたすけてやり無事に親子が再会します。

第2部 お人形さんとあそぼう (約15分)

<内容> 歌、踊り、ゲーム等、司会のお姉さんの進行で、人形と観客が一緒に遊びます。最後は子供たちのところへ握手にいきます。)

出演 司会のお姉さん/ピノッキオ/ゼペット/人形芝居の親方/キツネ/ネコ/仙女/ギニョール(コオロギ)

